

所属:文学部 スペイン語スペイン文学科	職名: 教授	氏名: 杉山 晃	大学院の授業担当:有(博士・修士)		
研 究 活 動					
著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発 表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号 数)又は発表学会等の名称	編者・著者名(共著 の場合のみ記入)	担当頁数
<b>【著書】</b>					
1『探偵ペドロの優雅な日々』	単著	平成11年3月	第三書房		50頁
2『ラテンアメリカ文学バザール』	単著	平成12年3月	現代企画室		189頁
<b>【学術論文】</b>					
1 <i>Un día</i> …: Primera colección de haikus de José Juan Tablada	単著	平成12年12月	『清泉女子大学紀要』第48号		27頁～41頁
2 <i>El jarro de flores</i> : Segunda colección de haikus de José Juan Tablada	単著	平成14年12月	『清泉女子大学紀要』第50号		1頁～15頁
<b>【その他】</b>					
(翻訳)					
1 ホセ・マリア・アルゲダス著『ヤワル・フィエスタ』	単著	平成10年4月	現代企画室		242頁
2 ルイス・セプルベダ著『センチメンタルな殺し屋』	単著	平成11年7月	現代企画室		170頁
3 レイローサ著『その時は殺され……』	単著	平成12年1月	現代企画室		197頁
4 アルモドバル著『オール・アバウト・マイ・マザー』	単著	平成12年4月	現代企画室		144頁
5 レイローサ著『船の救世主』	単著	平成12年10月	現代企画室		140頁
6 レイローサ著『アフリカの海岸』	単著	平成13年9月	現代企画室		151頁
(事典項目)					
1 「キューバ現代文学の光りと影」	単著	平成13年7月	『キューバ』(ワールドカル チャーガイド20)トラベルジャー		121頁～123頁
2 「キューバ文学」	単著	平成14年12月	『キューバを知るための52章』 明石書店		217頁～220頁
(講演)					
1 アルゲダスの悲劇性と普遍性	単	平成12年6月	於:京都外国語大学		

学会等および社会における主な活動	
昭和55年10月～現在に至る	日本ラテンアメリカ学会会員
昭和61年 6月～現在に至る	日本イスパニヤ学会会員
平成2年4月～平成8年3月	NHKラジオ・スペイン語講座講師
平成5年 4月～現在に至る	Latin American Studies Association会員
平成7年 4月～現在に至る	地中海学会会員
平成10年4月～平成14年3月	日本イスパニヤ学会理事

過去5年以前の主な研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)又は発表学会等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	担当頁数
<b>【著書】</b> 1 『南のざわめき』	単著	平成6年9月	現代企画室		277頁
<b>【学術論文】</b> 1 フアン・ルルフォの短編小説における死と罪	単著	昭和61年3月	『津田塾大学紀要』第18号		63頁～76頁
2 “Warma kuyay”: el primer cuento de José María Arguedas ——Identidad, erotismo, odio y ternura	単著	平成5年12月	『HISPANICA』37号		58頁～69頁
<b>【その他】</b> (翻訳)					
1 マリオ・バルガス＝リョサ著 『都会と犬ども』	単著	昭和62年9月	新潮社		421頁
2 フアン・ルルフォ著 『燃える平原』	単著	平成2年11月	水声社		219頁
3 ホセ・マリア・アルゲダス著 『深い川』	単著	平成5年12月	現代企画室		413頁

所属: 文学部 スペイン語スペイン文学科	職名: 教授	氏名: ホワン・ミゲール・ベナビデス	大学院の授業担当: 有(博士・修士)		
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発 表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号 数)又は発表学会等の名称	編者・著者名(共著 の場合のみ記入)	担当頁数
【著書】 1『現代スペイン語辞典 改訂版 (校閲)』	共著	平成13年3月	白水社	宮城昇、山田嘉 朗、ヘルマン・ア ルセ 他	1523頁
【口頭発表】 1 Tópico y sujeto en japonés y español	単	平成11年3月	Jornadas internacionales sobre Topología 於: グラナダ大学		
2 logopedia (パネル ディスカッション)	共	平成12年3月	Jornada sobre Logopedia y Patología 於: グラナダ大学		
3 El japonés y sus registros	単	平成12年10月	グラナダ大学一般言語学部博 士課程公開講座 於: グラナダ 大学		
4 Rasgos tipológicos y estructurales de la lengua japonesa	単	平成15年3月	Jornadas de las lenguas asiáticas 於: グラナダ大学		
5 La enseñanza de las lenguas orientales (パネル ディスカッション)	共	平成15年3月	Jornadas de las lenguas asiáticas 於: グラナダ大学		
学会等および社会における主な活動					
日本イスパニヤ学会会員					

5年以前の主な研究活動					
著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発 表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号 数)又は発表学会等の名称	編者・著者名(共著 の場合のみ記入)	担当頁数
【口頭発表】 1 Contrastes en la marcación sintáctica del español y el japonés	単	平成10年3月	グラナダ大学一般言語学部博 士課程公開講座 於: グラナダ 大学		

所属: 文学部 スペイン語スペイン文学科	職名: 教授	氏名: 吉田 彩子	大学院の授業担当: 有(博士・修士)		
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発 表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号 数)又は発表学会等の名称	編者・著者名(共著 の場合のみ記入)	担当頁数
【著書】 1 『ルイス・デ・ゴンゴラ『孤独』—翻訳・評釈—』	単著	平成11年6月	筑摩書房		翻訳 116頁 評釈 192頁
【学術論文】 1 Algunas dudas para la comprensión de las <i>Soledades</i> de Góngora	単著	平成10年	“Actas del IV Congreso Internacional de AISO(1996)”, Universidad de Alcalá de Henares		1671頁～1677頁
2 Las hijas del pescador—hacia el concepto de la mujer en la <i>Soledad segunda</i> de Góngora	単著	平成11年	“El hispanismo al final del milenio (Actas del V Congreso Nacional de la Asociación de Hispanistas Argentinos, 1998)”, Córdoba—Argentina		607頁～614頁
3 Tres hermosos locos de fin de siglo: observación de la locura en la <i>Sonata de primavera y Kokoro</i>	共著	平成12年	“Actas del XIII Congreso de la Asociación Internacional de Hispanistas, Madrid, 1998”, Editorial Castalia	中山文人・吉田彩子	315頁～322頁
4 Las serranas de Cuenca y las serranas de la Soledad primera — en busca del concepto de la mujer en las Soledades —	単著	平成12年	“Lecturas críticas de textos hispánicos. Estudios de literatura española Siglo de Oro” Vol.2, Eudeba, Universidad de Buenos Aires		353頁～362頁
5 El problema de la interpretación de los 34 versos finales de la <i>Soledad</i> segunda de Góngora	単著	平成13年	“Actas del V Congreso de la Asociación Internacional Siglo de Oro, Münster, 1999”, Iberoamericana Vervuert		1392頁～1399頁
6 Una temprana traducción de <i>El Alcalde de Zalamea</i> al japonés. Mori Ogai, 1889	単著	平成14年	“Calderón 2000, Homenaje a Kurt Reichenberger en su 80 cumpleaños. Actas del Congreso Internacional, IV Centenario del Nacimiento de Calderón, Universidad de Navarra, septiembre, 2000”, Reichenberger Ediciones		425頁～432頁

<p>【その他】</p> <p>(事典項目執筆)</p> <p>1『世界文学大事典』</p> <p>(招聘)</p> <p>1 ホセ・マリア・ディアス・ボルケ博士(マドリッド・コンプルテンセ大学) 連続講演会「スペイン黄金世紀の文学と社会」(12回)</p> <p>【口頭発表】</p> <p>1 Generación abandonada y olvidada: literatura en 1975-2000.</p> <p>2 ¿Cómo se tradujeron al japonés las <i>Soledades</i> de Góngora?</p>	<p>共著</p> <p>共</p> <p>単</p>	<p>平成8年 ～10年</p> <p>平成14年10月</p> <p>平成13年7月</p> <p>平成14年7月</p>	<p>集英社</p> <p>於: 清泉女子大学</p> <p>XIV Congreso de la Asociación Internacional de Hispanistas, City University of New York</p> <p>VI Congreso de la Asociación Internacional Siglo de Oro, Universidad de Burgos (Spain)</p>	<p>中山文人・吉田 彩子</p>	
--	-----------------------------	--	--	-----------------------	--

学会等および社会における主な活動

<p>昭和63年4月～平成4年3月</p> <p>平成6年4月～現在に至る</p> <p>平成11年4月～平成12年10月</p> <p>平成11年4月～平成14年3月</p> <p>平成13年11月～(終身)</p> <p>平成14年4月～現在に至る</p> <p>平成14年4月～現在に至る</p>	<p>日本イスパニヤ学会会員</p> <p>地中海学会会員</p> <p>Asociación Internacional Siglo de Oro 会員</p> <p>Asociación Internacional de Hispanistas 会員</p> <p>日本イスパニヤ学会庶務委員</p> <p>横須賀市文化振興審議会委員</p> <p>横須賀市新女性行政検討委員会委員</p> <p>横須賀市芸術文化財団理事</p> <p>スペイン王立コルドバ学術芸術文学アカデミー会員</p> <p>横須賀市生涯学習財団理事</p> <p>横須賀市水道事業経営委員会委員</p>
---	---

5年以前の主な研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)又は発表学会等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	担当頁数
<b>【著書】</b>					
1 『バロックの愉しみ』	共著	昭和62年7月	筑摩書房	荒俣宏・池内紀・高橋均・種村季弘・田之倉稔・鶴岡真弓・丹生谷貴志・沼野充義・吉田彩子	175頁～204頁
<b>【学術論文】</b>					
1 Realidad e ilusión en las <i>Soledades</i> de Góngora	単著	昭和60年8月	“Actas del I Congreso de Hispanistas de Asia, Seúl, 1985”		321頁～329頁
2 La posición de Francisco Fernández de Córdoba entre su <i>Parecer</i> y el <i>Examen</i>	単著	平成6年	“Hommage à Robert Jammes” III, <i>Anejos de Criticón</i> 1, Toulouse		1211頁～1217頁
3 Edición del texto de Martín Vázquez Siruela; <i>Discurso sobre el estilo de don Luis de Góngora</i>	単著	平成7年	“En torno a las <i>Soledades</i> de Luis de Góngora.” <i>Anejos de Criticón</i> 4, Toulouse		89頁～106頁
<b>【その他】</b>					
(翻訳)					
1 フアン・バレエラ著 『ペピータ・ヒメネス』	単著	昭和53年11月	主婦の友社(キリスト教文学の世界18『バレエラ ボルヘス』)		19頁～135頁,252頁～254頁
2 エミリオ・オロスコ著 『ベラスケスとバロックの精神』	単著	昭和58年5月	筑摩書房		146頁
3 ラモン・デル・バリェ＝イン克蘭著 『ソナタ』4部作(春のソナタ・夏のソナタ・秋のソナタ・冬のソナタ)	単著	昭和61年4月～63年8月	西和書林		131頁,132頁,139頁,146頁
4 フランシスコ・デ・ケベド著 『地獄の夢』	単著	平成3年6月	筑摩書房(澁澤龍彦文学館2『バロックの箱』)		175頁～237頁
5 ルイス・アントニオ・デ・ビリェナ著 『チコス 時は過ぎゆく』	共著	平成4年8月	筑摩書房	吉田彩子・中山文人	224頁
(招聘)					
1 マルク・ヴィッツ博士(トゥルーズ大学)集中講義「スペイン黄金世紀演劇」		平成8年10月	於:清泉女子大学		
2 マリア・クルス・ガルシア・デ・エンテリア博士(アルカラ・デ・エナレス大学)連続講演会「スペインの民衆文芸」(12回)		平成9年10月	於:清泉女子大学		

所属:文学部 スペイン語スペイン文学科	職名:教授	氏名:渡邊 愛子	大学院の授業担当:有(修士)		
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発 表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号 数)又は発表学会等の名称	編者・著者名(共著 の場合のみ記入)	担当頁数
<b>【学術論文】</b>					
1 Los pronombres en la prosa castellana del siglo XIII(2)	単著	平成10年9月	“Coronica”10		40頁～49頁
2 Los primeros contactos con las lenguas amerindias	単著	平成11月9月	“Coronica”11-1		56頁～69頁
学会等および社会における主な活動					
	Lingüística Modera Hispánica 会員				
5年以前の主な研究活動					
著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発 表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号 数)又は発表学会等の名称	編者・著者名(共著 の場合のみ記入)	担当頁数
<b>【学術論文】</b>					
1 Sur y y norte en los fonemas castellanos	単著	昭和49年12月	『清泉女子大学紀要』第22号		24頁～31頁
2 アンダルシアの言語	単著	昭和57年12月	『清泉女子大学紀要』第30号		73頁～83頁
3 アメリカのアステリヤ語の形成	単著	昭和60年12月	『清泉女子大学紀要』第33号		111頁～124頁
4 Los pronombres en la prosa castellana del siglo XIII(1)	単著	平成8年9月	“Coronica”8		21頁～35頁
<b>【その他】</b>					
(翻訳)					
1 J.G.バリエス編『星に輝く使徒』	共訳	昭和45年9月	中央出版社	佐久間正	314頁 (全体にわたる共訳)
2 ウナムノ著作集1『スペインの本質』	共訳	昭和47年	法制大学出版局	佐々木孝 他	197頁～255頁

所属: 文学部 スペイン語スペイン文学科	職名: 助教授	氏名: マリア・マヌエラ・アルマラス・ロモ	大学院の授業担当: 無		
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発 表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号 数)又は発表学会等の名称	編者・著者名(共著 の場合のみ記入)	担当頁数
<b>【著書】</b>					
1 『FORMA 2 Interferencias, cruces y errores』	共著	平成13年6月	SGEL	Ana Maria Benedetti, Jesús Sánchez Rodriguez, Holly Hightower, Maria del Pilar López Salinas, Filió Efhtymiou, Inmaculada Martinez	65頁～83頁
2 『ブラサマヨール ―コミュニケーション スペイン語』	共著	平成15年4月	朝日出版	マヌエラ・アルマラ ス、パロマ・トレ ナード、エンリケ・ アルマラス、高野 雅司、高松英樹、 柳沼孝一郎	6,10,15,16,21,22, 27,28,33,34,39,45, 46,51,52,57,58,63, 64,69,70,75,76,81, 82,86頁
<b>【学術論文】</b>					
1 Actos ilocutivos y cortesía verbal:Análisis contrastivo en español y japonés	単著	平成10年6月	”Actos ilocutivos y cortesía verbal:Análisis contrastivo en español y japonés ” サラマンカ大学		1頁～57頁
2 La expresión de la cortesía verbal	単著	平成13年5月	『人文・自然・人間科学研究』 第5号 拓殖大学人文科学研 究所		133頁～142頁
<b>【その他】</b>					
1 D.E.L.E試験問題作成	共著	平成10年6月	Instituto Cervantes	Manuela Almaraz, Javier Izcue, Marina López	特に担当ページ無し
学会等および社会における主な活動					
日本イスパニヤ学会会員					

5年以前の主な研究活動					
著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発 表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号 数)又は発表学会等の名称	編者・著者名(共著 の場合のみ記入)	担当頁数
<b>【著書】</b>					
1 “¿Qué dice el periódico?”	共著	平成元年4月	芸林書房	岡田辰雄、マヌエ ラ・アルマラス	1頁～54頁
2 『ふりがなスペイン語』	共著	平成2年4月	芸林書房	岡田辰雄、マヌエ ラ・アルマラス	1頁～186頁
<b>【その他】</b> (辞典・事典)					
1 『西和中辞典 インフォーマント』	共著	平成2年1月	小学館		特に担当ページ無し
<b>【口頭発表】</b>					
1 La vida cotidiana en el Japón actual	単	平成10年3月	Casa de Japón (サラマンカ) 於: サラマンカ大学		

所属: 文学部 スペイン語スペイン文学科	職名: 助教授	氏名: 木村 琢也	大学院の授業担当: 有(博士・修士)		
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発 表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号 数)又は発表学会等の名称	編者・著者名(共著 の場合のみ記入)	担当頁数
<b>【著書】</b>					
1 『スペイン語へようこそ!』	単著	平成12年2月	同学社		83頁
2 『スペインへのパスポート』	単著	平成13年2月	同学社		68頁
3 『ことたびスペイン語』	単著	平成14年4月	白水社		138頁
<b>【学術論文】</b>					
1 強勢の付与とその実現——<偽アクセント>から学べること	単著	平成10年12月	『イスパニカ』(No.42) 日本イスパニヤ学会		1頁～12頁
2 El rotacismo del fonema /s/ al final de palabra	単著	平成13年12月	『イスパニカ』(No.45) 日本イスパニヤ学会		26頁～36頁
3 Sobre la estructura jerárquica de las frases entonativas del español	単著	平成13年12月	『清泉女子大学紀要』第49号		(1)頁～(15)頁
<b>【口頭発表】</b>					
1 スペイン語の短い平叙文の発話における各音節の持続時間——林の数量化理論第1類を用いた研究——	単	平成10年5月	TEMAX研究会 於: 東京外国語大学		
2 スペイン語のCV型音節の持続時間	単	平成10年9月	第12回日本音声学会全国大会 於: 中央大学駿河台記念会館		
3 Two Tendencies toward Isochrony in Castilian Spanish Short Declarative Sentences	単	平成11年8月	第14回国際音声科学会議 於: Cathedral Hill Hotel, San Francisco		
4 強勢と等時性	単	平成11年10月	第271回東京スペイン語学研究会 於: 東京外国語大学		
5 El estrés léxico y la entonación	単	平成12年6月	第1回韓日合同スペイン語学研究会 於: 釜山外国語大学		
6 Aplicación del sistema ToBI a los enunciados españoles	単	平成12年8月	2000年度スペイン語学夏季セミナー 於: 舞洲野外活動センター		
7 “Buénor días.”	単	平成12年10月	日本イスパニヤ学会第46回大会 於: 東京大学駒場キャンパス		
8 Una tendencia isocrónica acentual observada en el español peninsular	単	平成13年6月	韓国西語西文学会第1回国際学会 於: 国立全北大学、全州		
9 スペイン語の強勢: 音韻論から音響音声学まで	単	平成14年1月	清泉女子大学人文科学研究所研 究懇話会 於: 清泉女子大学		

学会等および社会における主な活動	
平成3年4月～現在に至る	International Phonetic Association(国際音声学協会)会員
平成14年4月～現在に至る	Asociación de Lingüística y Filología de la América Latina(ラテンアメリカ言語学会)会員
平成14年4月～現在に至る	日本音響学会会員
	日本言語学会会員
	日本ロマンス語学会会員
	岩崎研究会会員
	東京スペイン語学研究会編集委員
	日本イスパニヤ学会理事, 編集委員
	日本音声学会企画委員

5年以前の主な研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)又は発表学会等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	担当頁数
<b>【学術論文】</b>					
1 スペイン語のあらたまった発話に見られる<偽アクセント>現象について	単著	平成4年12月	『イスパニカ』(No.36) 日本イスパニヤ学会		76頁～88頁
2 疑問詞cuálの用法の研究(上)	単著	平成6年12月	『イスパニカ』(No.38) 日本イスパニヤ学会		29頁～45頁
3 疑問詞cuálの用法の研究(下)	単著	平成7年12月	『イスパニカ』(No.39) 日本イスパニヤ学会		73頁～87頁
4 ¿Cuál es el día de tu cumpleaños?と¿Cuándo es tu cumpleaños?をめぐって——日西語対照の観点から——	単著	平成8年12月	『イスパニカ』(No.40) 日本イスパニヤ学会		1頁～13頁

所属:文学部 スペイン語スペイン文学科	職名:専任講師	氏名:長野 太郎	大学院の授業担当:無		
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発 表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号 数)又は発表学会等の名称	編者・著者名(共著 の場合のみ記入)	担当頁数
<b>【学術論文】</b>					
1 ガウチョ詩とアルゼンチン国民文学—土着主義をめぐる—考察—	単著	平成11年6月	『年報地域文化研究』第2号		133頁～150頁
2 国民文化の羅針盤としてのフォークロア—1940年代のアルゼンチンにおける民俗学の言説空間—	単著	平成12月6月	『年報地域文化研究』第3号		271頁～288頁
3 外国語学習におけるマスメディア素材の利用とメディア・リテラシー	単著	平成13年3月	『慶應義塾大学語学視聴覚教育研究室紀要』第33号		208頁～225頁
4 Canto, música y baile: la transformación del saber local en Argentina, 1906-1921	単著	平成13年6月	『ラテンアメリカ研究年報』No.21		112頁～140頁
5 サーカスにおけるガウチェスク劇—土着的スペクタクルをめぐる考察	単著	平成14年12月	『清泉女子大学紀要』第50号		17頁～38頁
<b>【その他】</b>					
(辞典・事典)					
1 『世界民族事典』 (国別項目「アルゼンチン」「ウルグアイ」)	共著	平成12月6月	弘文堂	監修:綾部恒雄	1048頁～1051頁
(エッセイ)					
1 アルゼンチン人のおしゃべりなわたし	単著	平成15年2月	『ちくま』		18頁～19頁
2 ダンスにおける地域性と国際性の十字路	単著	平成15年3月	『清泉文苑』第20号		
<b>【口頭発表】</b>					
1 ガウチョ詩とアルゼンチン文学—『マルティン・フィエロ』は国民的なのか	単	平成11年6月	日本ラテンアメリカ学会第20回 大会 於:上智大学		
2 フォークロアと国民文化—1940年代のアルゼンチンにおける民俗学—	単	平成12年6月	日本ラテンアメリカ学会第21回 大会 於:京都外国語大学		
3 El nacionalismo cultural en la práctica del baile	単	平成15年3月	LASA (Latin American Studies Association) ダラス大会 於:ダラス		
学会等および社会における主な活動					
平成11年4月～現在に至る	日本ラテンアメリカ学会会員				
平成14年4月～現在に至る	米国ラテンアメリカ学会 (LASA) 会員				

5年以前の主な研究活動					
著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発 表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号 数)又は発表学会等の名称	編者・著者名(共著 の場合のみ記入)	担当頁数
【著書】 1 『19世紀アルゼンチンにおけるカウディージョの政治的役割の評価とその見直し』	単著	平成5年12月	東京大学大学院総合文化研究 科修士論文		